

岡山県がん診療  
連携拠点病院  
第10回  
**公開講座**  
10周年記念

●演 題

# いのちは死の友

野の花診療所 院長 徳永 進 先生

おだやかな時間をつくる、  
という医療。

**日時=2017年1月21日(土)**

13:00~16:00 (12:30~受付開始)

**会場=岡山コンベンションセンター**

1Fイベントホール 岡山市北区駅元町14番1号

**主催/岡山大学病院**

後援/岡山県がん診療連携協議会、岡山県、岡山市、岡山県医師会、岡山市医師会、  
岡山県看護協会、岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、岡山県医療ソーシャルワーカー  
協会、野の花プロジェクト、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

問い合わせ先/岡山大学病院 医事課診療支援担当 TEL.086-235-7072

参加費無料・事前申込み要

《問い合わせ時間 平日8:30~17:00》



●演 題 **『いのちは死の友』** 野の花診療所 院長  
徳永 進 先生

**参加費無料〈事前申込み要〉**

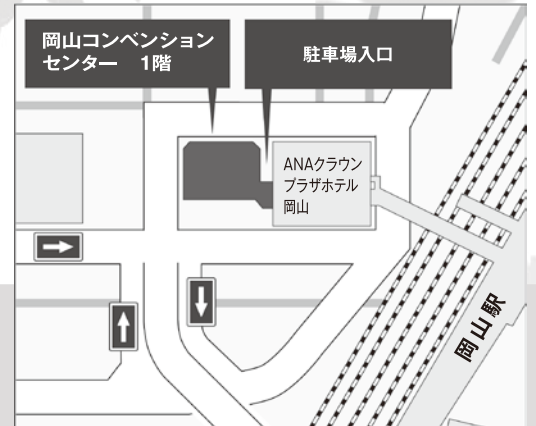
**プログラム**

- 13:00 開会挨拶  
岡山県からの報告  
がん相談支援センターの10年の取り組み  
ミニコンサート 「日本の四季の歌から」  
(一社)共感工房 アルベジアン
- 14:05 休 憩
- 14:15 講 演 演 題 『いのちは死の友』  
講 師 野の花診療所  
院長 徳永 進 先生
- 16:00 閉会

**講師略歴 徳永 進** (とくながすすむ)

1948年、鳥取県に生まれる。京都大学医学部を卒業。京都、大阪の病院・診療所、鳥取赤十字病院の内科医を経て、2001年12月、鳥取市内にてホスピスケアのある有床診療所「野の花診療所」を始め、今年で15年目となる。1982年『死の中の笑み』(ゆるみ出版)で、第4回講談社ノンフィクション賞を受賞。1992年、第1回若月賞(独自の信念で地域医療をしている人に贈られる)を受賞。著書には、『隔離』(ゆるみ出版)、『死ぬのは、こわい?』(イースト・プレス)、『誌と死をむすぶもの』(谷川俊太郎さんとの共著(朝日新書))、『野の花ホスピスだより』(新潮社)、『こんなときどうする?』(岩波書店)、『ケアの宛先』(雲母書房)、『在宅ホスピスノート』(講談社)、『野の花あったか話』(岩波書店)、『団塊69』(佼成出版社)、『どちらであっても』(岩波書店)

●会場:  
岡山コンベンションセンター  
(ママカリフォーラム)1階  
イベントホール  
岡山市北区駅元町14番1号  
TEL.086-214-1000



※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となります。参加による割引サービスはございませんので、あらかじめご了承ください。

**参加申込方法**

- 1 FAX** **2 郵送** **3 e-mail**  
のいずれかでお申込み下さい。

席数に限りがございます。定員になり次第締め切らせて頂く場合がありますのでご了承ください。

(ふりがな)	(どちらかを○で囲んで下さい)
① お名前	② 医療関係者 ・ 医療関係者以外
同伴参加者 ( ) 名	
ご連絡先(平日日中に連絡可能な連絡先をお書き下さい)	
③ 電話番号	-

**1 FAX** でのお申込みは、本紙をご使用ください。 **FAX.086-235-7613**

**2 郵送** でのお申込みは、上記項目①②③をご記入の上、下記までお送り下さい。

**3 e-mail** ◎送付先 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1  
岡山大学病院 医事課診療支援担当「第10回公開講座係」宛  
**e-mail : sinryousien@adm.okayama-u.ac.jp**

\*応募に関する個人情報は、本公開講座以外では使用いたしません。